

令和元年度天皇杯受賞者受賞理由概要
農産・蚕糸部門

水稲・大豆を主とした多収、高品質生産による高収益、家族複合経営の実践

○氏名又は名称 有限会社アグリゴールド矢木（代表 矢木 龍一）

○所在地 富山県下新川郡入善町

○出品財 経営（水稲）

○受賞理由

・地域の概要

入善町は、北アルプス立山連峰を源流とする黒部川に作られた扇状地で、広大な平地と豊富な水資源に恵まれた地域である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

水稲と大豆を主体に白ねぎ等の園芸作物を含めた複合経営であり、経営面積約160ha（平成30年）の規模で、従業員10名のメガファームである。

省力化、低コスト化を徹底し、高い収量と高品質な生産を両立することで高収益経営を実践している。

・受賞者の特色

（1）高い技術力による高収益経営の実践

水稲、大豆の栽培において、水管理、土作り、病虫害防除や追肥などの栽培管理、収穫後の乾燥や調整などを含めた基本的な栽培管理、調整技術を徹底かつ確実に行うことで、大規模な経営であるにも関わらず、水稲の1等比率はほぼ100%、大豆の品質も地域平均を上回る品質を確保しており、収量も、県平均収量を60kg（水稲）も上回る収量を確保している。

（2）省力化、低コスト化の取組

省力化の取組として、栽培では、地域の水稲育苗組織の活用、栽培の一部に水稲直播技術を導入することで、播種・育苗の労力を削減した。病虫害防除では、周囲の認定農業者とともに立ち上げた防除組織で、無人ヘリによる防除を委託するなど、省力化を実施している。また、低コスト化については、地域の施設や機器の共同利用、きめ細やかな機械メンテナンスによる長寿命化、綿密な作業計画による効率的な機械運用により少ない台数での経営は、不要な投資を抑え、低コスト化を実現している。

（3）女性の活躍

代表を除く9名の従業員のうち、女性は4名と割合が高いこと、そのうち1名は役員であり、経営に参画しやすい環境となっている。また、全従業員が働きやすいよう必要な設備を含めた環境整備、従業員の意向にあった作業への従事、資格取得の支援など、働きやすく、従業員の意欲を保つための取組を実施している。

・普及性と今後の発展方向

地域の中でも率先して、新技術、品目、経営管理について導入しており、それらのノウハウは自分のみならず周囲の経営者へ伝えるとともに、地域との共生や互助を念頭においた地域発展の取組を進めている。今後、増加する受託農地については、周囲5法人と協力しつつ、経営面積を200haまで拡大することとしている。